



1 第23号住居跡出土土器展開写真(第103図1)



2 第32号住居跡出土土器展開写真(第148図1)



3 第34号住居跡出土土器展開写真(第162図5)





1 第34号住居跡出土土器展開写真 (第162図1)



2 第82号住居跡出土土器展開写真 (第419図10)



3 第33号土壊出土土器展開写真 (第483図9)





1 第1号住居跡 (第568图1)



2 第1号住居跡 (第568图2)



3 第2号住居跡 (第572图1)



4 第2号住居跡 (第572图2)



5 第2号住居跡 (第572图4)



6 第2号住居跡 (第572图5)



7 第2号住居跡 (第572图8)



8 第2号住居跡 (第572图11)



1 第5号住居跡 (第574図1)



2 第5号住居跡 (第574図2)



3 第5号住居跡 (第574図3)



4 第16号住居跡 (第575図1)



5 第16号住居跡 (第575図3)



6 第26号住居跡 (第577図1)



7 第26号住居跡 (第577図2)



1 第26号住居跡 (第577图3)



2 第26号住居跡 (第577图4)



3 第26号住居跡 (第577图5)



4 第26号住居跡 (第577图8)



5 第26号住居跡 (第577图10)



6 第26号住居跡 (第577图9)



7 第27号住居跡 (第579图2)



8 第50号住居跡 (第581图2)



9 第50号住居跡 (第581图3)



1 第52号住居跡 (第583图2)



2 第52号住居跡 (第583图3)



6 第272号土壙 (第590图4)



3 第5号住居跡
(第574图5)



4 第27号住居跡
(第579图3)



7 第274号土壙 (第590图5)



5 第52号住居跡 (第583图4)



8 第274号土壙 (第590图6)



1 第7号清跡 (第603図2)



2 第18号清跡 (第603図7)



3 第18号清跡 (第603図9)



4 第18号清跡 (第603図16)



5 第18号清跡 (第603図21)



6 第18号清跡 (第603図17)



1 第18号溝跡 (第603図)



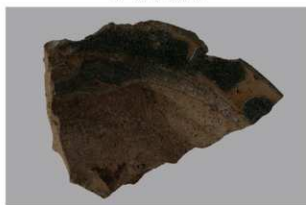
2 第18号溝跡 (第603図24)



3 第18号溝跡 (第603図26)



4 第18号溝跡



5 第18号溝跡 (第604図30)



6 第18号溝跡 (第604図35)



7 第18号溝跡 (第604図36)



1 第18号清跡 (第604图43)



4 第18号清跡 (第604图51)



2 第18号清跡 (第604图46)



5 第18号清跡 (第605图58)



3 第18号清跡 (第604图)



6 第18号清跡 (第605图)



7 第18号清跡 (第605图64)



1 鉄製品



2 銭貨 (1)



3 銭貨 (2)



4 石製品

報 告 書 抄 錄

ふりがな	なかいいせき								
書名	中井遺跡								
副書名	一般国道 17 号上尾道路新設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告								
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書								
シリーズ番号	第 433 集								
編著者名	上野真由美 堀内紀明 坂下貴剛								
編集機関	公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団								
所在地	〒 369 - 0108 埼玉県熊谷市船木台 4 丁目 4 番地 1 TEL 0493 - 39 - 3955								
発行年月日	西暦 2017 (平成 29) 年 3 月 22 日								
所収遺跡	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因	
		市町村	遺跡番号	° ′ ″	° ′ ″				
中井遺跡	埼玉県上尾市 大字領家字中 1039 番地他	11219	176	35° 58' 24"	139° 32' 32"	20120409 ~ 20130329 20130501 ~ 20130628	9,889	道路建設	
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項		
中井遺跡	集落跡	縄文時代	住居跡	81 軒	土器	縄文時代中期の住居跡が帯状に 密集して検出された。径 200 m の環状集落を構成する拠点 的な集落とみられる。			
			埋喪	4 基	石器				
		集石土壌	3 基	土製品					
		土壌	245 基	石製品					
		古墳時代	住居跡	2 軒	土師器				
		奈良時代	住居跡	6 軒	土師器・須恵器 土製品・金属器				
		中・近世	井戸跡	3 基	陶磁器				
			土壌	42 基	在地産土器				
		溝跡	25 条	石製品・金属器 銭貨					
要約									

中井遺跡は大宮台地西縁部に位置し、荒川支流の江川と荒川の合流部近くの台地上に立地する。調査によって、縄文時代から中・近世に及ぶ遺構を検出した。

縄文時代では、縄文時代中期中葉から後葉（勝坂～加曾川 E 式期）の住居跡が 78 軒検出され、拠点的な環状集落であることが明らかになった。

古墳時代では、7 世紀前葉の住居跡 2 軒が検出された。

奈良時代では、8 世紀中葉の住居跡が 6 軒検出され、この地域の奈良時代の集落として貴重な調査事例となった。

中・近世では、溝跡、井戸跡や土壌が谷地に面する調査区の南側に集中して検出された。また、調査区北側では近世の農地開発に持ち込まれた「ヤドロ」が堆積していた。この地区の土地利用の状況が明らかになった。

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第433集

中井遺跡

一般国道17号上尾道路新設工事に伴う
埋蔵文化財発掘調査報告
(第3分冊)

平成29年3月12日 印刷

平成29年3月22日 発行

発行／公益財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台4丁目4番地1

電話 0493 (39) 3955

<http://www.saimaibun.or.jp>

印刷／山進社印刷株式会社